

頭痛学会ニュースレター

日本頭痛学会ニュースレター20号 (2015年6月号)



- 1) 鳥取大学医学部脳神経内科 中島健二先生よりご寄稿
- 2) 第43回頭痛学会総会 演題募集のご案内
- 3) 第8回専門医試験実施についてのご案内
- 4) Headache Master School Japan2015 (HMSJ 2015)受講締め切りのご案内
- 5) 最近の頭痛研究トピックス (広報委員会から最新の論文をご紹介します)



1) 鳥取大学医学部脳神経内科 中島健二先生よりご寄稿

今年の2月に、第43回日本頭痛学会総会会長の北里大学神経内科学・北里研究所病院の濱田潤一教授が急逝されました。あまりに急なことで、驚きました。濱田先生の長期にわたる本学会への大きな貢献に感謝し、謹んでご冥福を祈ります。

濱田先生が頭痛学会において報告してこられた研究で思い出すものの一つに、発作間欠期の片頭痛患者血漿オレキシンが低値を示すという報告があります。病態生理との関連で興味ある濱田先生の講演を聞きながら、これらの成果から診断バイオマーカーを開発できないものかと思ったりもしました。

国際頭痛学会による国際頭痛分類・診断基準は、頭痛診療を飛躍的に発展させ、我が国でも和訳が作成されて活用されています。しかし、実際の診療をしていますと、診断に迷ったり、また、いまだに適切に診断されずにいくつかの医療機関を経た後に受診して来られる方に遭遇したりします。このような時、片頭痛においても診断バイオマーカーが必要ではないかという思いを抱きます。例えば、Parkinson 病の MIBG 心筋シンチグラフィーやドパミントランスポーターイメージング、Alzheimer 病におけるアミロイドイメージングや脳脊髄液 Aβ・タウ蛋白などは、これらの研究・診療に大きな影響を及ぼしています。片頭痛においてもプロテオーム解析などのいくつかの手法が開発が試みられていますが、まだ臨床現場で使用可能な診断バイオマーカーはありません。濱田先生のオレキシンに関する講演を聞きながら持った思いを思い出し、改めて片頭痛診断バイオマーカーの開発研究に期待したいと思ったりします。

今年の11月に予定されています第43回日本頭痛学会総会は、鈴木則宏理事長を大会長代行、北里大学神経内科西山利和教授を大会実行委員長として開催される予定で準備が進められています。

濱田先生のご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、本総会の成功と今後の日本頭痛学会・頭痛診療の発展を祈念したいと思います。



2) 第43回頭痛学会総会のご案内

今回の第43回日本頭痛学会総会は、濱田潤一教授（北里大学神経内科学・北里研究所病院）が大会長として準備を進めておりましたが、本年2月に濱田教授がご逝去されたため、このたび、日本頭痛学会の取り決めにより、鈴木則宏代表理事（慶應義塾大学医学部神経内科教授）を大会長代行とし、濱田教授の同門である西山和利（北里大学医学部神経内科学教授）を実行委員長として総会開催に向けて準備を進めていくことになりました。

みなさまの多数のご参加・発表をお待ちしております。

1. 学会日時 2015年11月13日(金)・14日(土)
2. 会場 東京都新宿区 京王プラザホテル
3. テーマ 「頭痛の科学—どこまで解明されたか 何が可能か」
4. 演題募集 平成27年5月12日(火)～7月31日(金)

(<http://www2.convention.co.jp/43jhs/index.html>)

~~~~~  
3) 第8回専門医試験実施についてのご案内

第8回日本頭痛学会専門医認定試験を下記の要領で行います。受験を希望される方は、受験資格をご確認のうえ、ご準備をお願いします。

1. 試験日時 2015年8月1日(土)10:00~16:00
2. 試験会場 都市センターホテル 東京都千代田区平河町 2-4-1
3. 試験方法 マークシート方式による筆記試験(200問出題)

([http://www.jhsnet.org/pdf/GL\\_shimin\\_A4.pdf](http://www.jhsnet.org/pdf/GL_shimin_A4.pdf))

~~~~~  
4) Headache Master School Japan2015 (HMSJ 2015)受講締め切りのご案内

2014年、日本頭痛学会の教育プログラムとして「Headache Master School Japan (HMSJ)」を大阪と東京で2回開催致しました。本年も日引き続き、頭痛医学、頭痛診療のレベルアップおよび専門医の養成を目指し、「Headache Master School Japan 2015 (HMSJ 2015)」の開催予定のご案内させて頂き、多数の応募がありました。無事、定員に達し募集は締め切りとなりました。みなさまの多数の応募ありがとうございました。

~~~~~  
5) 最近の頭痛研究トピックス (広報委員会から最新の論文をご紹介)

群発頭痛に対する経皮的迷走神経刺激療法の効果

Nesbitt AD, et al. Initial use of a novel noninvasive vagus nerve stimulator for cluster headache treatment. Neurology 2015;84:1249-1253.

掲載日：2015/04/24

過ぎたるは及ばざるがごとし?家族性片麻痺性片頭痛の遺伝子変異が引き起こす学習異常

Dilekoz E, et al. Migraine mutations impair hippocampal learning despite enhanced long-term potentiation. J Neurosci 2015;35:3397-3402.

掲載日：2015/03/25

月経関連片頭痛患者の三叉神経血管反応性の周期性変化に認められる異常

Ibrahimi K, et al. Reduced trigeminovascular cyclicity in patients with menstrually related migraine. Neurology 2015;84:125-131.

掲載日：2015/02/13

詳細は以下のリンクからご確認下さい

([http://www.jhsnet.org/zutu\\_topics.html](http://www.jhsnet.org/zutu_topics.html))

~~~~~  
【日本頭痛学会 企画・広報委員会】

お問い合わせは、<info@jhsnet.org>までお願い致します)